

製品名: p53AIP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15649**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	TP53AIP1
別名	TP53AIP1; p53-regulated apoptosis-inducing protein 1; p53AIP1
遺伝子 ID	63970.0
SwissProt ID	Q9HCN2
免疫原	抗血清はヒト TPIP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 75-124

背景

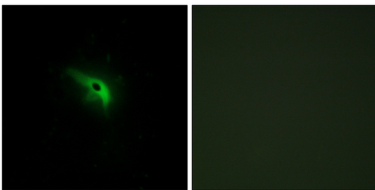
この遺伝子は胸腺特異的に発現し、ミトコンドリアに局在するタンパク質をコードしています。この遺伝子の発現は p53 によって誘導され、p53 依存性アポトーシスの媒介において重要な役割を果たすと考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォーム

をコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2011 年 10 月],機能: p53/TP53 依存性アポトーシスの媒介において重要な役割を果たす可能性があります。 ,誘導: p53/TP53 による。 ,組織特異性: 胸腺でのみ発現が確認されています。 ,

研究分野

p53;

画像データ



TPIP1 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。